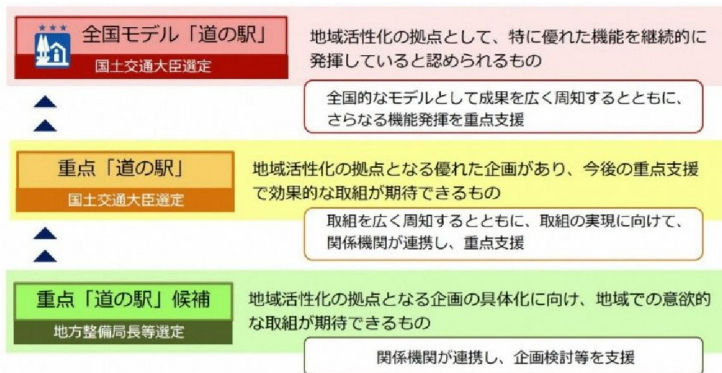


第4章 基本方針

4.1 目指す「道の駅」

元々、ドライバーが立ち寄りトイレ・休憩施設として生まれた「道の駅」は、その数全国で1,000を超える中、それ自体が目的地となり、まちの特産物や観光資源を活かしてひとを呼び、地域にしごとを生み出す核へと独自の進化を遂げ始めています。この進化する「道の駅」の機能強化を図り、地方創生の拠点となるよう導入機能の整理を行います。

こうした流れを応援するため、国土交通省では、重点「道の駅」や全国モデル「道の駅」を地域活性化の拠点となる先駆的なモデル箇所として選定することで、関係機関と連携して重点的に支援しており、本計画もこれらの選定を目指します。



出典：重点「道の駅」の選定について/国土交通省

重点「道の駅」、全国モデル「道の駅」

4.2 類型別機能

また「道の駅」は、地域外から活力を呼ぶ「ゲートウェイ型」と地域の元気を創る「地域センター型」の2種類に大きく分かります。本計画では、周辺施設との連携を考慮し、「ゲートウェイ型」のインバウンド観光、観光総合窓口、「地域センター型」の産業振興、防災の各機能を備えた複合型の「道の駅」とします。



出典：「道の駅」による地方創生拠点の形成/国土交通省

類型別機能

4.3 コンセプト

本市の地域特性や課題を踏まえ、「道の駅」の整備目的・必要性を実現するための整備コンセプト及び基本方針を設定します。

本市は、「千年のかくれんぼ」にし阿波観光への玄関口として、国内外から観光客が訪れるとともに、四国4県の交通の要衝「四国のへそ」として、各方面へアクセスしやすく、人やものが集まりやすい位置にあります。この位置条件を活かすことで、観光客、移住者（希望者）、住民が集まり、地域のにぎわいをつくる「道の駅」を目指します。



人ともものが集まり
地域の元気をつくる
四国のへその「道の駅」

計画コンセプト

■ 基本方針

観光

○人と自然にふれあえる、にし阿波観光のゲートウェイ

自然、アウトドアスポーツ、歴史文化などの体験を中心とした、にし阿波観光への玄関口として、国内外からの観光客に対応する観光窓口機能を設けます。

また観光情報を国内外へ発信し、観光促進を図ります。

移住

○交流人口づくりの起点となり移住へとつなぐゲートウェイ

観光による交流人口づくりの拠点となり、関係人口、定住人口づくりへとつなげる移住プロセスの流れの起点となることで、移住の促進を図ります。

地域

○特産品や6次産業商品を発信するゲートウェイ

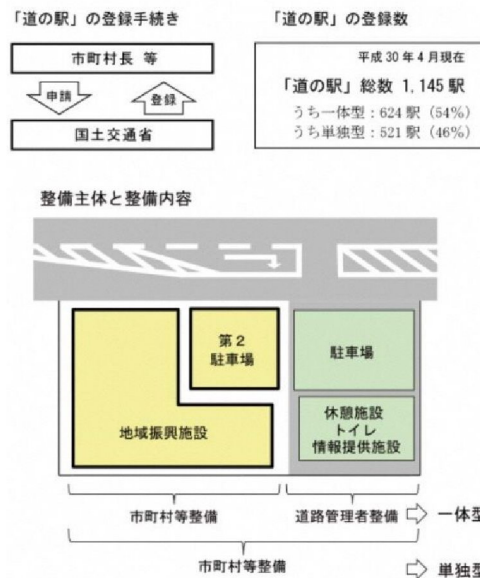
○安全安心の暮らしを支える防災拠点

産直や加工品の販売、地産地消のレストランを設け、地域産業の活性化を図ります。またそれらの情報を全国へ発信し、知名度の拡大や、観光促進へつなげます。

防災機能を設け、住民が安心して暮らせる環境をつくれます。

4.4 整備手法

「道の駅」の整備方法には、道路管理者と市町村等で整備する「一体型」と市町村等で全て整備を行う「単独型」の2種類があります。全国の「道の駅」の整備手法の割合は、一体型が624駅（54.0%）、単独型が521駅（46.0%）（2018（平成30）年4月現在）となっています。本計画においては、「一体型」での整備を想定し、道路管理者との協議及び調整を進めます。



出典：「道の駅」の目的と機能/国土交通省

「道の駅」の設置者、登録方法

4.5 周辺の整備予定施設との連携

本計画と同時期に国道32号線沿いにおいて整備された、地域交流拠点施設「箸蔵とことん」など周辺（整備予定）施設との連携を図ることで、エリア全体での賑わいを図り集客へとつなげます。

また「道の駅」が観光窓口として交流人口づくりの起点となり関係人口づくり、定住人口づくりへとつなげる移住プロセスの流れをつくることで、移住の取組みを実践していきます。

4.6 親水空間の検討

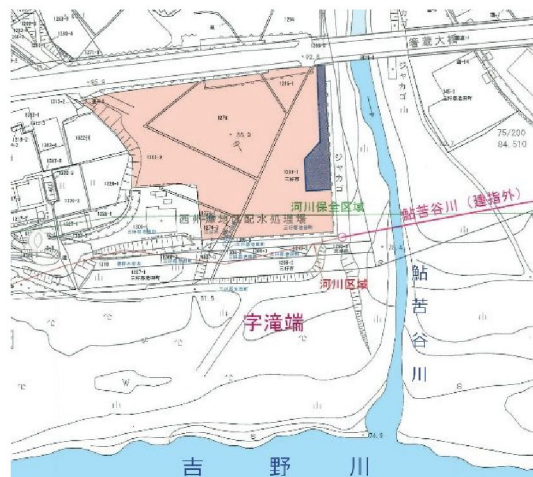
事業計画地は、鮎苦谷川と吉野川が交わる場所に位置しています。2つの川は地域の風土と文化の源泉であり、地域の骨格をなす多目的で多様な機能を有しています。

本市はウォータースポーツのまちづくりに取り組んでおり、川が有する多様な機能を活かした親水空間を利用することで、アクティブ層のみならず、訪れた人が気軽に水と触れられる場の形成を目指します。



親水空間の検討

親水空間の計画にあたっては、事業計画地のうち敷地南側の吉野川に沿った一部のエリアが河川法の河川保全区域に指定されているため、そのエリアに建築物や工作物を設置する場合、もしくは土地の掘削盛土等、土地の形状変更をするとき、または河川区域内に工作物等を設置し、土地を占用する場合は、河川管理者の許可が必要になります。そのため親水空間活用にあたっては、河川管理者と協議して計画します。



河川区域と河川保全区域